

北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成27年 9月
第35号

北海道及び室蘭市では、北海道PCB処理事業所（JESCO）が室蘭市仲町で作業を行っている事業が、安全、確実かつ適正に行われるよう、処理施設の整備や作業、情報公開等に関する事項を監視するため、「北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議」を設置しています。

今回は、8月に開催しました第35回監視円卓会議で説明のあった北海道PCB処理事業所の処理状況などについて、お知らせします。

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議（第35回）

平成27年8月6日、PCB処理情報センターにおいて、第35回監視円卓会議を開催しました。会議には、学識経験者、団体委員、公募委員の計13名の委員のほか、オブザーバーとして、環境省、登別市、伊達市、JESCOなど関係者が出席し、処理の進捗状況やトラブル事象などの説明を行い、これらに関する質疑や意見交換が行われました。

【会議の概要】

1 第34回監視円卓会議議事録について

平成27年3月26日に開催された第34回監視円卓会議の議事録が承認されました。

2 北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について

JESCO から、施設の稼働状況、トラブル事象の概要と対策などについて、報告がありました。事務局からは、環境モニタリングの測定結果、北海道及び室蘭市による立入検査の実施状況について報告がありました。



8月6日 PCB処理情報センター

3 PCB廃棄物処理基本計画に基づく取り組みの進捗状況等について

環境省から、早期処理完了に向けた取り組みについて、説明がありました。

■ 主な報告事項

■ 処理の進捗状況について

平成27年6月末までの処理実績は、次のとおりです。

当初施設 (脱塩素化分解処理)	トランス類		コンデンサ類	
	登録数	処理台数	登録数	処理台数
	4,133 台	3,180 台(76.9%)	57,487 台	45,219 台 (78.7%)

注) 登録数：平成27年6月末現在。 処理台数：試運転物を含む抜油ベース。

増設施設 (プラズマ溶融分解処理)	登録重量	処理状況			
		安定器	小型電気機器	感圧複写紙等	処理量計
	2,611,534 kg	1,120,416 kg	32,384 kg	24,452 kg	1,177,252kg (45.1%)

注) 登録重量：平成27年6月末現在。処理量：試運転期間（平成25年6月～8月）からの前処理投入ベース。感圧複写紙等には、汚泥、その他PCB汚染物を含む。

■ トラブル事象について

前回の会議以降、トラブル事象が1件発生しました。このトラブルは、環境への影響はありませんでしたが、通報連絡及び公表基準の「区分」に該当する事象でした。

また、平成27年3月から6月末までの不具合事象(部品交換を伴う事象及び復旧作業に伴い数日程度設備が停止した事象)は17件、不具合事象未済(一過性の事象及び設備の停止が1日程度若しくは無かった事象)は14件でした。

【トラブル事象の概要等】

暖房用真空温水機 内部確認中のダストによる両眼の外傷 ... 平成27年4月8日15時40分頃発生
通報連絡及び公表基準「区分」に該当

概要 増設施設建屋の暖房用に設置している真空温水機B号機を停止して点検中に、JESCO 職員が温水機内部を覗き込んだ時に、内部のダストが点検口から噴出し、被災者の目に入り受傷した。

場所 増設処理施設(プラズマ溶融分解施設)6階
換気空調熱源機械室 真空温水機B号機【管理区域外】

原因 被災者が真空温水機B号機の点検口を覗いていた際、自動起動したA号機の燃焼ガスが、共通の排気系からB号機に流れ込んだ。A号機からの影響は無いと判断し、停止等の対策をしていなかった。また、停止中の温水機であったため、本来着用すべきゴーグルを着用していなかった。

再発防止策 本事象を事業所内に周知し、安全意識の高揚を図った。
停止中の機器であっても運転中の機器と接続がある機器は、運転中の機器と同様の保護具を着用することとした。



■ JESCOの情報システムにおいて発生した不正通信に係る調査結果について

JESCOでは、情報システムにおいて不正通信の痕跡を確認したため、平成27年6月16日から外部と情報システムとの接続を遮断し、セキュリティ専門会社の協力を得て、情報流出の有無及び原因調査等を行ってきました。その調査結果について、報告がありました。

- (1) PCB 廃棄物の保管情報などの個人情報等の流出は確認されませんでした。
- (2) 今回の不正通信は平成27年1月29日に受信した電子メールのマルウェアが入った添付ファイルを実行したことにより、パソコンが感染したことを契機に発生したことが確認されました。
- (3) 今後、個人情報等を外部から保護する措置の強化・社員教育の内容の充実など、セキュリティ対策の強化取り組んでいきます。

JESCOでは、8月7日からメール等の外部接続を再開しています。

■ 平成26年度及び平成27年4～6月までの環境モニタリング測定結果等について

北海道、室蘭市及びJESCOでは、処理事業が適正かつ安全に実施されていること、周辺環境に影響を与えていないことを確認するために、処理施設からの排出状況や周辺環境のモニタリングを実施しています。平成26年度及び平成27年4月から6月までの測定結果は、すべての測定項目で排出管理目標値、環境基準値等を下回りました。

また、前回の円卓会議以降、北海道及び室蘭市は、3回の立入検査を実施し、トラブル等の発生があった際は再発防止策等について指導しています。

排出源モニタリング結果 (平成26年4月～平成27年6月)
すべての測定項目で排出管理 目標値の超過無し

周辺環境モニタリング結果 (平成26年4月～平成27年6月)
すべての測定項目で環境基準 値等の超過無し

■ 当初施設 第一系統排気に係る活性炭性能調査結果について

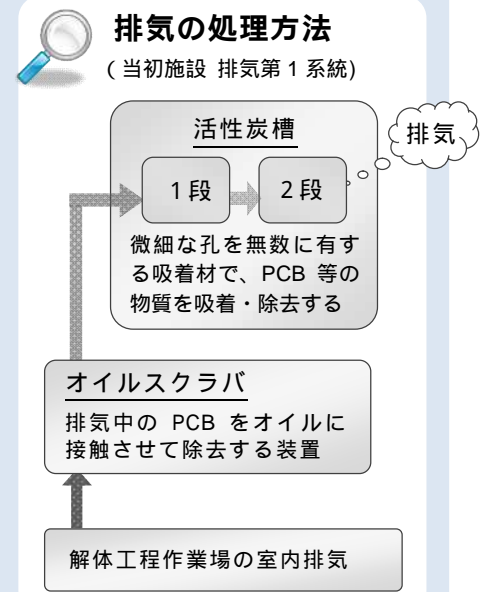
処理施設の排気は PCB 等を吸着する処理装置等を経由して外部へ排出していますが、セーフティネットである活性炭槽の性能調査結果について、JESCO から報告がありました。

調査の背景

- 平成 23,24 年に採取した活性炭槽の PCB 吸着量を測定したところ、値は低いものの槽の入口側よりも出口側の方が高くなる測定値（逆転現象）があったため、活性炭の PCB 吸着性能等を確認するために調査を行った。

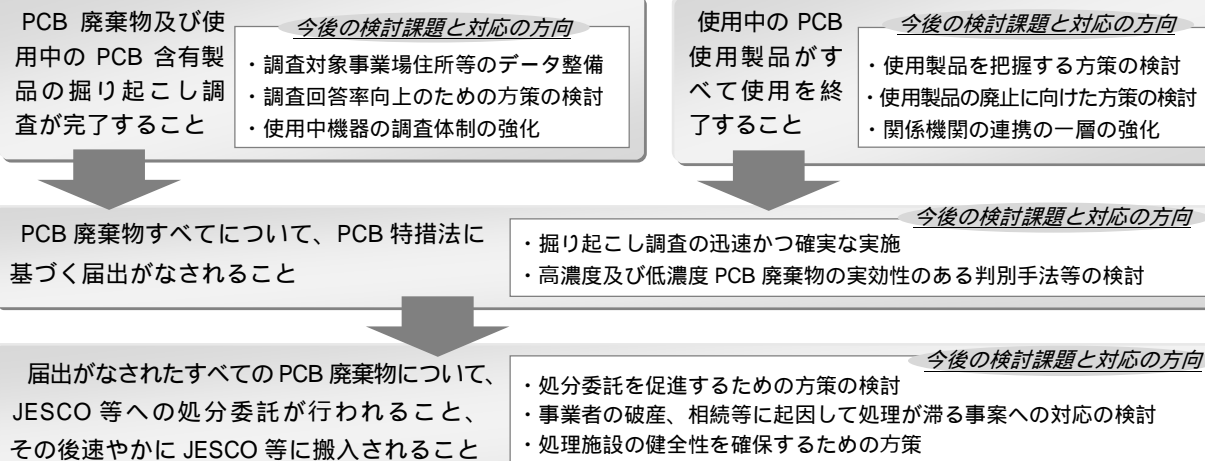
調査の結果

- 活性炭の PCB 吸着能力は十分認められる。
- 逆転現象の要因として、排気の数、オイルスクラバから入り込むオイルの影響等により、オイルに溶解した PCB の一部が活性炭内で気化して出口側に移行する可能性が高いこと、などが考えられる。
- 従来から問題の無い PCB 濃度ではあるが、活性炭槽内の濃度等に変動が生じることから、オイルの濃度管理、活性炭の交換及びモニタリング等により引き続き施設の安全性を確認していく。



■ PCB 廃棄物処理基本計画に基づく取り組みの進捗状況との今後の課題等について（環境省説明）

処理期限までに確実に処理するため、期限内に掘り起こし調査の実施から JESCO 等における処理まで、各段階で重点的にフォローアップを行うことが必要。



早期処理の完了に向けて必要な追加的方策について検討を行うため、「早期処理推進ワーキンググループ」を設置し、速やかに検討を進める。

■ 委員からの主な質問と意見

活性炭性能調査結果について

（意見）委員

活性炭に吸着することは確認できたが、スクラバーオイルによる送気の実験ができなかったことから、PCB 吸着量の逆転現象については検証ができていない。

（回答）JESCO

活性炭の処理性能は確認できた。今後、さらに調査等を実施することについては改めて検討したい。

（意見）委員長

実装置での確認など、再検討していただきたい。

PCB 廃棄物処理基本計画に基づく 取り組みに関して

(意見) 委員

ワーキンググループでの検討は、地域で活動している人たちの声を積極的に取り入れていただきたい。

(意見) 委員

企業の合併や廃止などが、PCB 使用機器が不明になる理由の一つ。ワーキンググループで検討していただきたい。

(意見) 委員

検討するだけでなく、結果をきちんと出す必要がある。身近なところから改めて掘り起こしすることも必要。

(意見) 委員

掘り起こしには地域の方々（警察・消防など）にも協力をしてもらおう工夫が必要。また、どのようなところにあったかなど、調査結果の公開なども検討してほしい。

(意見) 委員

PCB 廃棄物の運搬には経費がかかる。廃棄物処理法では自己運搬が認められているが、現在 PCB に関しては、自己運搬が認められていないので、認められるよう検討いただきたい。

(回答) JESCO

廃棄物処理法だけではなく、JESCO において運搬容器など受入基準を作り、施設への入門許可を受けた業者のみが搬入できるようにしている。

(意見) 委員

昨年度、北九州の監視会議が交流として室蘭に来られた。室蘭においても他地域との交流ができるよう検討していただきたい。

(回答) 室蘭市

今年度、北海道の監視円卓会議他による事業調査として、北九州市に行くことを検討しているところ。

委員改選のお知らせ

監視円卓会議では、学識経験者及び各種団体のほか、広く道民の皆様の参加を頂くことを目的として、公募委員の制度を設けています。任期は2年としており、平成27年3月末をもって第5期の任期が終了したことから、委員を改選しました。第6期の委員は次の14名で、委員長には、真柄委員、副委員長には吉田委員が選任されました。

【委員長】真柄 泰基（北海道大学公共政策大学院公共政策学研究センター 研究員）

【副委員長】吉田 英樹（室蘭工業大学大学院工学研究科 准教授）

【委員】齋藤 健（北海道大学大学院保健科学研究院 教授） 永澤 勝博（室蘭商工会議所 工業部会長）
室村 吉信（室蘭漁業協同組合 代表理事組合長） 西畑 常夫（環境ネットむろらん 代表）
森川 卓也（室蘭市連合町会協議会 常任理事） 相澤 彰（公募）
河野 秋昭（PCB処理の安全性を考える会 共同代表） 橋本 忠雄（公募）
時田 昭子（室蘭市女性団体連絡協議会 会長） 村上 孝志（公募）
藤当 満（NPO法人室蘭地域再生工場 理事長） 山内 ふみ（公募）

PCB廃棄物処理事業に関するお問い合わせ

JESCO 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 北海道 PCB 処理事業所

平成26年12月 日本環境安全事業株式会社から社名変更

〒050-0087 室蘭市仲町14番地7
電話：0143-22-3111(代表) FAX:0143-22-3001
ホームページ：<http://www.jesconet.co.jp/facility/hokkaido/index.html>

PCB 処理情報センター

〒050-0001 室蘭市御崎町1丁目9番地8
電話：0143-23-7015
開館日：月～金 9:00～16:30(土日祝・年末年始休館)

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問い合わせ

北海道 環境生活部 環境局 循環型社会推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 E-mail: kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp
電話：011-231-4111(内線24-325) FAX:011-232-4970 ホームページ：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/top_page/pcb.htm

室蘭市 生活環境部 環境課

〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目75番地7 E-mail: kankyoku@city.muroran.lg.jp
電話：0143-22-1481 FAX:0143-22-7148 ホームページ：http://www.city.muroran.lg.jp/main/org3300/pcb_top.html

「監視円卓会議だより」や監視円卓会議の会議資料は、北海道及び室蘭市のホームページでご覧いただけます。また、この「監視円卓会議だより」は、むろらん広域センタービル、蘭東支所でも配布しています。